

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 保
	全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	4162 農業経営基盤強化対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	040000 農業経営基盤強化対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域の中心的な農業者である認定農業者を支援し、農業活性化すること						農業者の経営を安定させるため農地集積や研修を支援している。 農業者の大規模化や経営安定に効果がある。 国の補助制度を活用して担い手確保の観点から農業用機械施設導入を支援した。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
農地集積7.4ヘクタール 認定農業者総数153人	農地集積9.4ヘクタール 認定農業者総数122人 TPP関連事業、担い手確保経営基盤強化支援事業補助金の交付
平成29年度 実績	平成30年度 予定
農地集積10ヘクタール 認定農業者総数130人	農地集積10ヘクタール 認定農業者総数140人
平成31年度 予定	平成32年度 予定
農地集積10ha 認定農業者150人	農地集積10ha 認定農業者160人

指標名	農地集積				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	5	5	5	7
	実績	9.4	21.2		
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		1,933	2,057
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	130	110
	地方債	0	0
	その他	557	604
一般財源		1,246	1,343
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	1.0	0.4
人員コスト	正規職員	3,574.5	3,574.5
	嘱託職員	553.2	553.2
	臨時職員	1,179.0	471.6
	計	5,306.7	4,599.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,239.7	6,656.3

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	123	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	193	農地情報管理負担金92、農地中間管理機構農地集積協力金87
その他	1,617	臨時職員人件費1,517、役務費103

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	150	消耗品費150
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	165	農地情報管理負担金101、会議棟出席負担金14
その他	1,742	臨時職員賃金等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農地の荒廃化を防ぐために集約化は必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	有効に機能している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	性質上、季節によって仕事量の偏りがあるが、効率的に機能している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
権利にかかわることなので慎重かつ丁寧に対応する必要がある（多少の手間はかかる）

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
農地集積、繁忙期における労働力の確保のため、支援を継続する。		農業者の農地規模拡大や経営安定化を図るため支援を継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	